

この度は GHD キーをお買求め戴き、誠に有難う御座いました

(Rev11.0729)

● 特徴

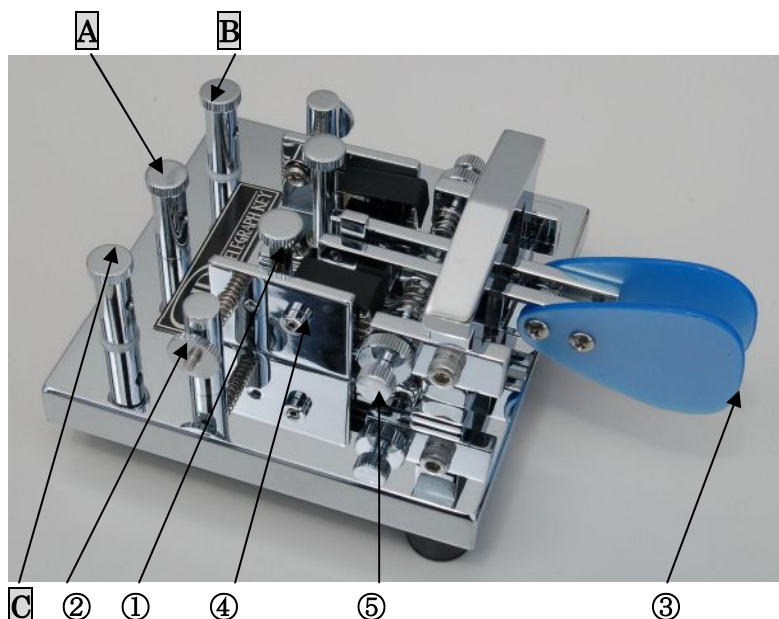
- ① レバーに取り付けられた遮光板で光を遮ると符号が出る今までに無い画期的な キーです
- ② メカ接点がないので カチャカチャ音が無く 接触不良も有りません、(キー操作は力を入れずに行ってください)
- ③ ベースは鏡面研磨後硬質クロームメッキ仕上げ、パーツは艶消しの梨地仕上げ後に硬質クロームメッキ仕上げです
- ④ 付属の **AC ADP** は AC100～240V までに対応しています、

(スイッチング電源の為発熱が殆んど無く高効率ですが 近くに AM ラジオ等があると雑音が入る事があります)

● お手入れ

ベース(クロームメッ)の指紋等の汚れは 軽く息をかけティッシュペーパーで軽く拭き取ってください

● 調整手順



- 1 **AC ADP** を繋ぎ、端子 **A B C** にモールス発信機又はキーヤーを繋ぎ符号がモニター出来るようにします
- 2 光センサーのフレーム固定用ネジ①を緩めます
- 3 ストローク調整用ナット②でツマミ先端③の矢印の部分)の移動量(遊び)が 0.5～1 ミリ位に調整します
キーの外側から見て時計方向に回すとストロークが大きくなります、反時計方向に回してもストロークが小さくならない時は 指で光センサーのフレーム④を少し内側に押してください
- 4 その時のバネ圧をネジ⑤で合わせます
- 5 右側も同じ様に調整します
- 6 各ネジのロックナットをキチンと締め付けて下さい(指定箇所以外は触らないで下さい)
 - ・運用中は電源(**AC ADP**)を抜かないで下さい、電源が切れると符号が出っぱなしになることがあります
 - ・改良の為デザイン 仕様等が変更になる事があります、
 - ・**エレキー**として使う時は別に**キーヤー**(符号発生器)が必要です、最近のリグには殆ど内臓されていますが内臓されてなかったり、 使い勝手をもっと良くするには弊社の**メモリーキーヤー GK509A** のご使用をお勧めします、符号の記録 再生もでき大変に便利です(**SW** 一つで**縦振り**や**バグキー**と**エレキー**が使えます)
 - ・一般的な**エレキー**の右手操作の時 端子 **C** は短点 **B** は長点となります、尚端子 **A** はアースです

(株)GHD キー

〒981-3326 宮城県黒川郡富谷町明石字下向田 24-14

Tel 022-779-0681

Fax 022-779-0682

www.ghdkey.co.jp